

EBA FIELDWORK



EBA(エビデンス・ベースド・アプローチ)プロジェクトは、慶應義塾大学とアジア太平洋地域にある大学等で構成された、高等教育コンソーシアムです。

EBAプロジェクトのプログラム、EBAフィールドワークは、様々なデータや根拠(エビデンス)に基づいた問題発見・分析・表現手法を身につけ、多様な学部/文化/国を背景とした参加者同士の議論と活動を通じて、各人が域内のある課題を多角的な視点で捉え、グローバルリーダーに必要な国際感覚やグローバルコラボレーション能力等を養うことを目的としています。

参加者募集

EBA 水俣フィールドワーク 2026

水俣市の歴史、現在、そして持続可能な環境モデル都市としての未来を考える

スケジュール (暫定版)

4~5月
オンラインコース
7月中
オリエンテーション (オンライン)
7/30~8/1
三田キャンパスにてワークショップ
8/2~8/4
水俣市にてフィールドワーク
8/5
水俣市にて成果発表会後、東京帰着
8月下旬
オンライン成果発表会

現在、慶應義塾大学主催の水俣市でのフィールドワークの参加者を募集しています。

熊本県水俣周辺は、公害の原点とも言われる水俣病を経験し、数奇な運命をたどってきました。現在も水俣病は終わっていないと言われます。

水俣に赴き、水俣病事件の背景を学び、現在の水俣を知り、未来の水俣について考えませんか?

※このプログラムは、SFC 2026年秋学期「国内フィールドワーク AもしくはB」の単位取得が可能です。

必要な語学力

- 英語: 日常会話レベル
- 日本語: 現地の人との会話が可能なレベル

参加費用

- 約30,000円程度 (食費、東京での交通費等は含まれません。)
- 往復航空券/宿泊等旅費交通費は一部EBAより補助されます。



SCAN FOR MORE INFO

▲ 塾生用応募フォーム

応募締め切り 2026年2月25日 23:59 (UTC+9)